

# 平成20年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：ナシ・ニセナシサビダニ (No. 2)

平成20年5月26日

鳥取県病害虫防除所

## 1. 情報の内容

5月下旬のニセナシサビダニ寄生密度は平成12年に次いで2番目に低く、平年と比べて少ない。

## 2. 情報の根拠

(1) 5月下旬現在、県予察ほ場におけるニセナシサビダニの1葉当たり個体数は0.2頭(平年：165.0頭)で、平年と比べて少ない(表1)

(2) 向こう1か月の気象予報及び少発年の発生活消長(表2)によると、発生盛期は平年より遅い6月下旬頃が見込まれる。

表1 ニセナシサビダニの発生活消長(園芸試験場)

月・旬	本年	平年
5・上	0	0.3
5・中	0	40.0
5・下	0.2	165.0
6・上		792.7
6・中		940.1
6・下		1,025.5

表2 少発年のニセナシサビダニの発生活消長

月・旬	H9	H10	H12
5・中	12.2	0.0	0.0
5・下	17.6	15.0	0.0
6・上	42.6	1,186.2	44.6
6・中	48.2	1,498.6	157.6
6・下	210.6	1,599.0	606.2
7・上	310.8	417.2	2,051.2
7・中	76.2	1.0	608.4

注) 殺ダニ剤無散布ほ場、1葉あたり寄生個体数

\*平成4年以降、5月下旬の寄生密度が低い3か年のデータ、殺ダニ剤無散布ほ場の発生活消長

## 3. 防除上注意すべき事項

(1) 第1回目の防除は、発生初期の6月初め頃を目安に実施する。薬剤はコテツフロアブル

3,000倍液などを使用し、本種が寄生している新梢先端部に薬液が十分付着するように散布する。なお、園内でクワオオハダニも発生している場合は、コテツフロアブルに替えてダニトロンフロアブル1,500倍液などを散布する。

(2) 第2回目の防除時期は、発生盛期の6月下旬以降と見込まれるが、今後の情報を参考にする。

次回の情報は6月6日頃に発表予定。